

徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターは、開設 5 周年を迎えました

この度開設5周年を記念し、阿波銀プラザで「私のことば2023展」を開催しました。また、17日(日)には記念セレモニーと、特定非営利活動法人100年福祉会 片山工房(神戸市長田区)の理事長、新川修平氏をお招きし、特別講演をしていただきました。多くの方々にご臨席を賜りましたことを、感謝申し上げます。

今回の展覧会では、県内在住の障がいのある12名の方々が制作した美術作品35点を展示するとともに、作者紹介のビデオも上映しました。(ビデオは当センターのYouTubeチャンネルでご覧いただけます。)また、第9回「障がい者アーティストの卵」発掘展で受賞した13点の作品、第3回全国公募「Tシャツデザイン展」での優秀作品を県内クリエイターが協同で制作したTシャツ5点も展示しました。開催期間中220名を超えるの方々にご来場いただき、「作者それぞれが魅力的で感動した」「お一人お一人の『ことば』がひしひしと伝わる展示で、心の限り表現しようとする様子が胸を打たれた」という温かい言葉をたくさん寄せていただきました。

今後も、美術や舞台芸術など表現活動に取り組んでいる障がいのある方々の優れた才能や素晴らしさを広く発信していくことで、多様な人々が自分らしく生きることができる社会で生きがいを見つけ、積極的に社会参加し、自立していけることを目標に活動を続けていきたいと思っております。

「私のことば2023展」



会場 阿波銀プラザ
会期 2023年12月13日(水)～18日(月)
記念セレモニー・特別講演 12月17日(日)
共催 株式会社阿波銀行



徳島県立障がい者交流プラザ プラザギャラリー貸出利用についてのご案内



ギャラリーを使い始める日の前日から数えて6ヶ月前の日から14日前の日までにお申込みください。展示・撤去作業を含む2週間程度ご使用いただけます。

当センターホームページの「プラザギャラリー」のページで利用状況を確認、利用案内・申請書のダウンロードをしていただけます。

障がいのある県内在住の作者の皆様、作品をプラザショップで販売してみませんか。

プラザショップのレジ横の壁面に展示、販売します。



令和6年度作品募集・参加募集について

当センターホームページで随時ご案内いたしますので、ご確認ください。

発行
社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団 徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター
〒770-0005
徳島県徳島市南矢三町 2 丁目 1-59 徳島県立障がい者交流プラザ 1 階
電話 088-631-1200 FAX 088-631-1300
メール t-geibun@kouryu-plaza.jp



Website



Instagram



YouTube



ART & CULTURE

徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター

令和5年度事業報告と令和6年度行事予定についてのご案内



徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター開設 5 周年記念「私のことば 2023 展」
阿波銀プラザ 2 階



このロゴマークは、放課後等デイサービス「未来」(児童デイフラット未来)で開催したワークショップで子どもたちが描いた形からデザインし、令和3年度から徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターのロゴマークとして採用しています。

令和5年度事業報告

○ 笠野智也 作品展

県内作家の作品紹介として、笠野 智也さんの個展を開催しました。

会場 徳島県立障がい者交流プラザ 1階プラザギャラリー
会期 4月29日(土・祝)～5月28日(日) 油絵11点を展示。



幼少の頃から恐竜や特撮映画に登場する怪獣が大好き。漫画家になりたいとの思いで県外の専門学校に進学し、美術の基礎を学ぶと共に油絵も描き始め 20 年余り。心に浮かんだ情景や住んでいる街の風景を、思いのままに表現し楽しんで描き続けています。趣味は、ゴジラ映画のロケ地を一人で訪ねることと、近所のゴミ拾い。2019 年 第4回「障がい者アーティストの卵」発掘展 銅賞



○ 第3回全国公募 夏の空をTシャツで彩ろう「Tシャツデザイン展」

会場 徳島県立障がい者交流プラザ 1階・2階プラザギャラリー
会期 7月14日(金)～8月16日(水)
作品募集期間 5月8日(月)～6月5日(月)
表彰式 8月6日(日)



今回は、前回は遥かに上回る710点もの作品が全国から寄せられました。優秀賞5点、佳作9点、入選31点を選出し、応募作品全てをプラザギャラリーに展示しました。優秀賞の作者と県内のクリエイターと協働でTシャツを制作、販売しました。

○ 第9回「障がい者アーティストの卵」発掘展

会場 徳島県立近代美術館 1階ギャラリー
Web会場 徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターホームページで公開中
会期 9月6日(水)～9月10日(日)
作品募集期間 7月3日(月)～7月24日(月)
表彰式 9月10日(日)



131点の応募があり、金賞・銀賞・銅賞各1点、佳作10点を選出しました。今回も Web での公開も行い、多くの方に作品を観ていただくことができました。

【審査委員長 講評】 年々、質が高くなっていると共に作品の幅が広がっている。特に受賞作品は作者の気持ちと世界観をしっかりと楽しんで集中して取り組んでおり、自然と作者の存在感と繋がっている。

○ 第9回「障がい者アーティストの卵」発掘展受賞作品巡回展

巡回展① 徳島県立障がい者交流プラザ 1階プラザギャラリー 9月23日(土)～10月29日(日)
巡回展② 阿波銀プラザ 阿波銀行本店営業部ビル3階 12月13日(水)～12月18日(月)

○ 集まれ！みんなで音楽を楽しもう！！

会場 徳島県立二十一世紀館多目的活動室
開催日 令和5年8月1日(火)
講師 マイケル・ローバッカー博士(徳島文理大学名誉博士)
共催 徳島文理大学
参加者 36名



○ 障がい者アート活動支援のためのワークショップ

- 「知的財産権の基礎を学ぼう」10月4日(水)
講師 戸田 順也 氏 (戸田コンサルティング LLP 弁護士・税理士・中小企業診断士)
主催 INPIT徳島県知財総合支援窓口
- 「ボーダレス・アートミュージアム NO-MA」「佐川美術館」見学 10月18日(水)
- 「マスキングテープで表現してみよう」11月5日(日)
講師 田中 佳 氏 (徳島大学 准教授・Tokudai Hospital Art Labo 主催)
共催 徳島大学人と地域共創センター
協力 徳島大学ホスピタルアートクラブ
- 「NFT って何？」12月7日(木)
講師 上野 昇 氏 (四国大学 准教授)



知的財産権の基礎を学ぼう



ボーダレス・アートミュージアム NO-MA



マスキングテープで表現してみよう



NFT って何？



【参加者様の感想】

- 施設の活動を改めて見直す良い機会になった
- 今まで全く勉強してこなかった分野だった
- 今後、利用者さんのアート活動に必要な日があるかもしれないと思った
- とても分かりやすく、的確なアドバイスでとてもよい研修だった
- 意思能力が不十分な方との契約については、ハードルがあると分かった

【参加者様の感想】

- 古民家を活用したミュージアムの内装や展示方法など参考になった
- 視覚障害者団体の社会参加研修で、手で触る美術館を体験する事業を計画したい
- NO-MA の2階の畳の部屋にたくさんの鈴を転がしている展示が斬新で楽しかった
- 多くの人に分かりやすいように複数の言葉を使った説明文の掲載

【参加者様の感想】

- 職場のデイの壁面制作に今日のワークショップで学んだアートを取り入れたいと思った
- 重心の施設でも活用できそう
- 今回の研修は利用者ご家族の方が一緒に取り組めるので最高
- 再生アートとして発展的だった
- 「木」→「葉っぱが散る」→「花になる」の流れに感動した

【参加者様の感想】

- ひとりで調べても分かりにくい内容を詳しく教えてもらえて良かった
- 実際にチャレンジするにはハードルが高いと感じた
- NFT の可能性をぜひ活用したい
- デジタルを活用したアート作品の売買取について学ぶことができて良かった

※【参加者様の感想】は開催時のアンケートより一部抜粋してご紹介しています。

○ 「ひとりひとり、いろいろで、まる。工房まる作品展」

会場 徳島県立近代美術館 1階ギャラリー
会期 令和6年2月21日(水)～3月3日(日)
公開制作 令和6年2月25日(日)
ゲストトーク 令和6年2月25日(日)



「特定非営利活動法人まる 工房まる」(福岡県)の54名の作品約110点を展示。ゲストトークは、工房まる 主任支援員 池永健介氏をお招きして開催しました。たくさんのご来場、ありがとうございました。



○ 「第2回 みんなのはっぴょうかい」

会場 徳島県立二十一世紀館イベントホール、YouTube によるライブ配信も同時開催
開催日 令和6年2月22日(木)

県内の障がいのある個人、施設、グループなど15組148名による楽器演奏、ダンス、ソーシャルサーカスなど、多彩なパフォーマンスが披露されました。

